


No.	7	
学区	膳所学区	
主な相手先	膳所学区史跡ガイドの会、膳所歴史資料室ほか	
日時	2019年6月22日（土曜）	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・膳所総祭の際の神輿の渡御ルートは各神社の宮司に聞いてもらったら、正確なルートがわかる</li> <li>・和田、膳所、篠津、若宮八幡は、昔は湖岸から茶臼山などのほうまで土地を持っていた。山麓にある池も持っていた。そのため、山麓に御旅所があり、そこまで神輿が渡御する</li> <li>・神輿の渡御ルートで一番短いのは石坐神社</li> <li>・昔は、大きな神輿も担いでいたと聞かすが、今はトラック。昔の人は農作業などで肩が強かったから、担げたのだろうが、大人50人いても担ぐのが大変なぐらい重い</li> <li>・和田神社は、最近神輿の担ぎ棒を新調したそうで、100万ぐらいかかったと聞いた</li> <li>・膳所の町割りは複雑で、単純に道路が境になっているというようなものではない。そのため、氏子域もかなり複雑</li>   <li>・北向地蔵は保存会があり、活動も熱心にされている</li> <li>・六体地蔵は特になにもしていないと思う</li>   <li>・膳所では地蔵盆もやっているが、それほど大きな行事ではなく、昔は子どもを対象にイベントをしていたが、今はしていない</li> <li>・杉浦町では、今も地蔵盆で数珠回しをしている</li>   <li>・昔は、川の水で野菜などを洗っていたが、感染症（腸チフス？）が出てやめたと聞く</li>   <li>・蘆花浅水荘は、所有者がこちらに住むようになってから、公開等の活用がされるようになってきた。そのため、あまり地元住民との関わりはない</li>   <li>・東海道、蘆花浅水荘、膳所焼をうまく活用すれば、膳所も観光地になると思う</li>   <li>・膳所の町中の東海道は非常にわかりにくい。迷っている人をみかける</li> <li>・以前、東海道を歩いている人に、草津には本陣など沿道にいろいろあるのに、膳所には何もないと言われた</li> <li>・東海道がわかるような看板をつけて欲しい。今も電柱に看板が付いているが、あれではわからない</li> </ul>	

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 東海道の道路に特別なラインを引くなどしてほしい</li><li>・ コーナーごとに説明できる案内板を立ててほしい。スマホのアプリを使って、歴史がわかるようになればよい</li><li>・ 今、膳所商店街でガイド灯という取り組みをし始めている</li><li>・ 東海道沿道の空き家を利用して、休憩所を設けてはどうか</li><li>・ 東海道を歩いている人がお金を落としてくれるようになればよい</li><li>・ 東海道沿道を歩く人がいるが、道が狭くて非常に危険</li><li>・ 道が狭いのは城下町だからこそでもある</li><li>・ 東海道沿道にトイレがない。まち歩きのガイドをしていてもトイレに苦労する</li></ul><br><ul style="list-style-type: none"><li>・ 膳所城が再建されて、そこに資料室ができればよい</li></ul> |
|--|